

テーマ：フン害をなくすまちづくり

1 テーマ設定の理由

ペットブームにより、路上、公園等に犬の糞が散乱している。「糞の後始末は飼い主の責任で」「犬の散歩お断り」など様々な看板も取り付けられているが、それでも効果はあまり見られない。飼い主のマナーの向上が課題であると思うが、マナーの向上を待つとともに積極的な対応も必要であると思う。

人間と犬が快適に過ごせる環境づくりを提案したい。

2 まちづくりの構想

公園内に犬のフン専用のゴミ箱（仮称コンポストトイレ）を設置する。フン専用のゴミ箱にはコンポストの機能を持たせ、堆肥化した犬のフンは公園の樹木や花壇に利用する。

- ① 設置は、公園を管理する市町が行う。
- ② 愛犬ボランティアを募り、愛犬ボランティアがコンポストの管理及び樹木や花壇への施肥を行う。
- ③ コンポストトイレには、フンをビニールの袋と一緒に入れないようにする。紙袋を利用するか、フンだけを入れる。
- ④ コンポストトイレは、清潔感漂う公園にふさわしいデザインを工夫する。

3 効果

- フン害の解消
- 愛犬家のモラル向上と親睦の深まり
- 公園の緑化促進

4 補足

尿尿（人間の）のコンポストによる処理については実用済み。

別紙資料参照

コンポストトイレ

《導入のきっかけ》

ログハウスのための土地を取得するにあたり、最初に悩んだのがトイレの設置でした。敷地には水道が引きこまれておらず、水を使用するとなると井戸を掘るしかありませんでした。もしそれにともない排水設備(浄化槽、浸透枳)も整えなければなりません。

これらの工事を業者に見積もってもらったところ、当初考えていた土地取得の予算をはるかにオーバーしてしまいました。これに加え水洗トイレを設置するとなると、その工事にも相応の出費が加算されます。

以前から給排水設備の必要のない"コンポストトイレ"の存在は知っていたのですが、いずれも本価格が高価であり、設置にも素人では手に負えないような工事がともなうものばかりでした。

そんなときに、安価で設置も簡単な"コンポストトイレ"を扱う「庭仕事ひろば」さんのサイトにめぐりまさに"渡りに船"と思い、早速、購入に踏み切りました。



《コンポストトイレとは》

しくみはきわめて簡単です。本体内部のドラムに(ポスト材(ピートモス等)が入っています。このなかする微生物が、排泄物やトイレットペーパーを分解れらを堆肥に変えていきます。堆肥は本体下部にり出し口にたまり、容易に取り出すことができます。排泄物は分解されてしまうために、臭気もありません。化学物質を一切使用しないため、周囲の環境を汚配もなく、また、初期設備費用、維持費も安価で、経済的です。

ユニット内の、湿度の調節や換気のためにヒーターが取り付けられています。これは、家庭用の1C電源でOKです。(電源の不要なタイプもあります)

《設置》

設置も簡単です。

本体の後部に排気口があるので、これにパイプを接続し、室外に排気筒を取りつけます。あとは、本体のドラムにコンポスト材と微生物と酵素を含んだ粉末を投入し、コンセントを差こむだけです。

設置、使用に必要なものはすべて本体に付属しています。

